

# 豆田町並み通信

第69号

発行者  
豆田町  
伝建保存会  
28年12月

## 第三七回天領まつり 第十二回千年あかり盛大に開催!

十一月十一日より十三日に開催された、千年あかり、天領まつりは三日間とも好天に恵まれ、十万人の人出で賑わいました。

天領まつりのメイン行事の「郡代着任行列」には、本年五月に結婚した豆田・草野本家の草野浩輔・晶子夫妻が郡代夫妻役に選ばれ、元締めを務めた原田啓介市長と共に、行列を先導しました。



出発式で挨拶する原田市長。後方は草野夫妻



行列の最中、姫姿のサッポロビールイメージガール柚木渚さんの撮影会も開催



今年初めての企画の飛脚レース



月隈ステージで行われた「時代寸劇」



点火式で行われた昭和学園の書道パフォーマンス



豆田地区振興協議会主催の「先哲祭」。挨拶を行う橋本成人会長



ボランティアの着火作業



河川敷と廣瀬資料館のオブジェ



千年あかり・町中コンサート 左より長福寺いわおたかのかりさんの live in pure land、なでしこ会の祇園囃子演奏、インカニャンによるペルー・アンデスの音楽会、大分ギターアンサンブルの竹あかりミニライブ

# 作文コンクール 受賞者決定!

豆田地区振興協議会が主催する「咸宜園教育遺産世界遺産登録推進小学生作文コンクール」に百二十六点の応募があり、最優秀賞一点、優秀賞三点、努力賞十点が選考されました。受賞者は十一月十二日(土)の「先哲祭」のなかで表彰されました。

受賞者は以下の通り

最優秀賞 星野 誓志(咸宜小)

優秀賞 古賀 美咲(咸宜小)

足達 康平(咸宜小)

上田 雄太(桂林小)

努力賞 梅木 彩名(咸宜小)、麻生 奈

央(咸宜小)、森山 莉帆(咸宜

小)、佐藤 璃乙(咸宜小)、園

田 翔(咸宜小)、梶原 真比留

(咸宜小)、佐藤 凧沙(咸宜

小)、桑鶴 夏(桂林小)、梶原

碧(桂林小)、武内 雛(有田小)



丸山町公民館で行われた「表彰式」に参加された受賞者や先生保護者の皆さん

# 第2回日田市日本遺産 活性化懇話会開催!

十月十八日、天領資料館にて第二回「日田市日本遺産活性化懇話会」が開催され、役員を選出と今後の事業計画について審議されました。

会長には、波多野平・豆田町伝建保存会会長代行を選任し、副会長には豆田の斎藤文哉・木下弘一郎両自治会長を選任しました。

又、天領まつりが実施されるにあたり、各商店に卓上のぼりを置き、スタンラリー参加者を募ったり、豆田商店会では、日本遺産をデザインした「ビニール袋」を作成する事が話されました。



役員を選考と豆田地区に於ける、活性化策が話された懇話会



商店に置かれた卓上のぼり



商店会作成のビニール袋

# 上町道路補修工事終了

十月十一日より始まった上町通りの舗装工事が十一月末に終了しました。

車の通行が多いことから工事は、午後八時より午前六時までの夜間工事で行われ、工事内容としては、透水性の舗装を基本とし、歩行者の安全を確保する為、歩道部分と車道部分の色を変えています。



夜間行われた補修工事の写真

# 港町山鉾 復元新調工事進む

平成二十八年度の「日田祇園山鉾保存修理事業」として承認された港町山鉾の復元新調工事のうち、部材への切り込み作業が、十一月より港町の酒井歯科前の土場で行われています。

港町の山鉾は昭和六十三年に復活以来三十年が経過し、横木や柱などの部材の劣化が進んだことから復元新調するものです。

港町山鉾振興会の櫻木光生会長は「当町の山鉾は線路沿いの町内まで引き回しを行う為、四本柱をチェーンブロで上げ下げ出来る構造の山鉾になる予定です。平成二十九年三月には出来上がります。来年の祇園祭には、新しくなった山鉾を見に来て下さい。」と語ってくれました。



切り込み作業が進む港町の山鉾